

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 1月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	BCPは策定途上にある。非常災害時用の水、食料は別棟倉庫に保管されているが、納品や管理は業者に委託しており具体的に何がどれだけあるのかや災害発生時にどのように活用していくかなどについては職員間で共有がなされていない。	災害発生時に職員一人ひとりが状況にあわせて適切な判断、行動ができるように、備蓄品や物品がどこにどれだけあるのか、どうやって活用するかが分かるように見える化を進めたい。	BCPの策定を年度内に完了。計画書に沿って備蓄品や非常災害時用物品の置き場を整理しリスト化する。またすぐに持ち出し活用できるようマニュアル化を進める。リストやマニュアルを職員に周知し共有できるように事務所にも保管する。	2ヶ月
2	35	嚙下調整食品の備蓄は確保していない。常食の備蓄食品を加工し提供することとしているが、災害発生時に実際に対応できるのかは	災害発生時にも利用者の状態にあわせた形態での食事の提供ができるように、現在施設に在籍している利用者の実情に即した備蓄用食品の準備を整えたい。	嚙下調整食の備蓄食やトロミ剤など通常食以外の方も想定し上記のリストに入れ込んで作成する。業者へ依頼、購入し確保を進める。	2ヶ月
3	35	地震や津波、水害といった自然災害発生時を想定した訓練は現状実施には至っておらず、また地域や住民との連携の在り方についての協議も進んではいない。	事業所を取り巻く環境から自然災害発生時の被害やリスクを想定した実践的な訓練を行えるようにしたい。また平時から地域や施設近隣の住民の方に理解を頂き連携を取れるよう協力関係を築いておけるようにしたい。	計画を立てて自然災害の種別ごとの避難訓練を実施し、に地域住民の方にも声をかけ参加して頂くようにする。また、災害時互いに協力しあえるためにも、地域行事を通しての交流や利用者と一緒に外に出て活動するなどし顔なじみの関係性を構築しておく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。